

設立趣旨書

NPO 法人 COCONI
設立代表者 水木 千代美

これからの中学生には、急激な社会変化と予測困難な時代に対応して、自己の可能性をひらき、夢や希望を実現するための展望を持ち、将来の市民としてふさわしい自分らしい人生を築いていく力が必要だと指摘されています。そのため、学校をはじめとする多様な学びの場を通じて、中学卒業後の進路を自己の興味関心や個性に応じて主体的に選択できるよう、自己有用感と共に生きる力を育成し、将来の生き方に対する目的意識と意欲を育てる教育が求められています。

中学卒業後の高等学校等への進路は、大阪においても近年多様なニーズに応えるため選択肢がますます拡大してきました。しかし一方で、高校入試選抜制度が多様化・複雑化してきたこともあります。進路に関する様々な情報を活かしきれないままに、主として成績により進路先を決定する傾向が強くなっていると危惧されています。すべての子どもたちが自分にふさわしい進路を主体的に選択することが難しくなっているといわざるをえません。特に、社会的・経済的・家庭的にきびしい状況にある子どもにとっては課題が多くあります。

大阪府の高校進学率は、2019（令和元）年度は、98.5%でした。ほとんどの中学生が高等学校等に進学する現状にあります。しかし一方で残念ながら、高校中退は、進路変更、学校生活・学業不適応、学業不振、経済的理由、家庭の事情など様々な理由で、毎年 4,000 人ほどになっています。また、高校の不登校についても、6,000 人ほどが学校に行けていない状態にあります。令和元年文部科学省調べによると、中退、不登校とともに大阪府は、中退率が 1.6%、不登校率が 2.7% であり全国的に見てもたいへん厳しい状況にあります。

こうした現状にある要因としては、大阪府では就学支援の受給など貧困家庭の割合が極めて高いこと、入試制度の見直しが毎年のように行われ、そのねらいや正確な情報を生かし切れていないこと、中学校教員の若年化が進行し進路指導の経験の少ない教員が増加したことなどが重なっていると考えられます。

中学生の卒業後の進路をめぐるさまざまな課題に対応しその解決をめざして、私たちは、2019（令和元）年、市民参画型の任意団体「Connections for children（以下、CFC）」を立ち上げ、次の目的のもとに活動を進めることとしました。

- ・ 子どもたちに対する多様な活動を通じて、自己有用感と「共に生きる力」、将来の市民としてふさわしい自己の可能性や展望をきり拓いていく力を育成する。
- ・ 特に、社会的・経済的・家庭的に厳しい状況にある子どもへの学習支援・居場所づくり・キャリア教育等を進め、もって社会性や自立心、共に生きる力を育成する。
- ・ 進路選択支援活動を充実し、中学生が自らの進路を興味関心や個性に応じ

て主体的に選択できるよう支援する。

- ・ 教育・心理・福祉など多様な専門職種や地域人材等の連携・協働によって、個々の専門性や立場を包括した地域教育協働モデルを構築し、地域教育コミュニティの形成に資する。

CFCはこの間、トヨタ財団の助成を受け、中学生が主体的に進路を選択し、卒業後の一歩を意欲と目的を持って進めるために、どのような情報が必要であり、どのような学習が求められているかなどを明らかにするための調査研究を行ってきました。その成果として、進路学習・情報冊子「進路選びのヒント」を刊行することができました。これまでの一連の活動を通じて、様々な立場の大人がつながり、子どもたちに多様な進路の選択肢を提供するための地域子ども支援活動の必要性を確信しました。

今後は、地域と学校や行政との協働のもとに、中学生の主体的な進路選択を支援するための学校・地域における多様な活動を具体化することによって、CFCの活動をより発展させていきたいと思います。進路情報の集約と発信、教育プログラムの開発、地域における子ども支援活動の推進など中学生に対する多様な進路選択支援活動を進めることによって、厳しい課題のある子どもをはじめすべての子どもたちが、中学卒業後、一歩先への希望をもてる進路の実現に向けた活動を進めていきたいと考えています。

こうした活動は、幅広い世代や多様な専門性のある人が関わることによって世代や分野を超えた地域のつながりを生み、よりよい地域社会を育むひとつの手立てとなると思います。めざす方向は、地域のさまざまな人材や教育・福祉・心理など多様な専門家、教育関係者等の参加による、地域と学校とが協働した教育支援モデルの構築です。学校だけ、地域だけ、行政だけではなく、子どもの教育課題を共有しながら、その解決のためにそれが役割を分担し力を出し合うという協働型の地域教育コミュニティ、そして多様な協働活動を通じて地域人材の育成と担い手の拡充という好循環を生みだし、持続可能な地域教育コミュニティの実現をめざしたいと考えます。

継続は力です。進路選択支援など地域子ども支援活動を安定的に継続することのできる持続可能性を高めることはたいへん重要な課題です。今後、組織および運営体制をより一層強化するにあたり、官民さまざまな助成金・補助金申請や契約等において、法人格が必要であることをふまえ、また、活動内容が非営利であるため、NPO法人の設立が望ましいと判断しました。

多様な協働を実現し幅広い地域子ども支援活動を推進するために、組織的・継続的・安定的に活動を継続することをめざし、そして運営基盤を強化することを目的に、CFCの活動を充実・発展させる団体として新たに、「NPO法人 COCONI」を設立いたします。